

### 清盛の時代 1

#### —平安宮・平安京の変容—

京都市考古資料館 山本 雅和

#### 1. 平安宮城

##### ・記録の状況

朝堂院：治承元年（1177）太郎焼亡により焼失

豊樂院：康平6年（1063）焼失

内裏：安貞元年（1227）再建中に焼亡

諸官衙：太政官・神祇官・真言院など一部の官衙は室町時代まで存続・機能

朱雀門：仁治3年（1242）の記事が最後

##### ・遺跡の状況

平安時代後期：大極殿・朝堂院・内裏などの主要施設は造営・修造により維持・管理

官衙は全体的には衰退・機能停止

##### 鎌倉時代

：一部を除くほとんどの施設が徐々に衰微→廃絶  
門・築地などの外郭施設は整備・維持

##### ・平安宮の廃絶

中世にも一部の施設は存続した→完全な荒地になったわけではない

#### 2. 平安京城

##### ・慶滋保胤「池亭記」に記された平安京

天元5年(982)成立

「予、二十余年ヨリ以来、東西二京ヲ歴見ルニ、西京人家漸ク稀ニシテ殆ト幽墟ニ幾シ。人ハ去ルコト有テ来ルコト無シ。屋ハ壞ルコト有リ造ルコト無シ。(中略)東京四条以北、乾良ニ方、人人貴賤ト無ク、多ク群聚スル所ナリ。高家門ヲ比ベ堂ヲ連ネ、少屋壁ヲ隔テ接フ。東隣ニ火災有レバ西隣ハ余炎ヲ免レズ。南宅ニ盜賊有レバ、北宅ハ流矢ヲ避リ難シ。」

##### ・市街地の変容

平安京城西部の变化

大宮大路以西で側溝の埋没・街区の耕作地化が目立つようになる  
軸となる街路の維持と街路沿いの建物の出現

三条大路・七条大路・春日小路・三条坊門小路・楊梅小路など

##### 大規模な整地

平安京左京城のほぼ全域で整地による嵩上げが行なわれる

平安京南東部（左京城南部）で街区が形成される

##### ・条坊の変質

『延喜式』の規格と異なる街路

左京六条三坊十町（小六条殿）での六条坊門小路の付け替え

左京九条三坊十三・十四町での烏丸小路東側溝の食い違い

左京八条三坊六町での八条坊門小路のズレなど

#### 街路規模の変化

側溝が街路中心に向かって付け替えられる→道幅が狭くなる

##### ・宅地の変化

町屋型建物の出現

街路に向かって出入口を開く・街路に沿って建物が隣接して建ち並ぶ

両側町の形成

四丁町→片側町→両側町

町屋型建物と屋敷型建物が一つの街区に併存

#### 3. 平安京周辺部

##### ①市街地の拡大

・平安京東辺東側

法成寺の造営

鴨東に広がる開発

・平安京北辺北側

##### ②「郊外」の開発

#### 4. 「平安京」から「中世都市・京都」への変容

##### ①市街地の範囲の変化

##### ②条坊制の実態としての放棄→街路を軸とする結合

##### ③建物の型式の変化

##### ④遺物の変化

・出土遺物量の増加

・器種構成の変化

・遠隔地からの搬入品の増加

#### 引用・参考文献

「平安京左京二条二坊」・「平安京右京八条二坊・西市跡」『平成元年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1994年

「平安京右京五条二坊2」『平成2年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1994年  
「平安京左京八条三坊2」『平成6年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1996年

山田邦和「中世都市京都の成立」『古代都市の構造と展開』奈良国立文化財研究所 1998年

高橋昌明編『院政期の内裏・大内裏と院御所』文理閣 2006年

上村和直「平安宮の衰微」『研究紀要』10 (財)京都市埋蔵文化財研究所 2007年

『院政期の京都 白河と鳥羽付 法金剛院・法住寺殿』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2007年

山本雅和「平安京の街路と宅地」『平安京の住まい』京都大学学術出版会 2007年

山本雅和「都の姿貌」『古代の都3 恒久の都平安京』吉川弘文館 2010年

表1 院政関係年表

上皇	平安京(京中)			京外(京城郊外)			周辺地域(辺地)	関連事項					
	平安宮	左京	右京	御室	白河殿	鳥羽殿			法住寺殿				
	976 堀川院が初めて里内裏となる(紀略)。 1060 高陽院造営(小)。 1071 後三条天皇による内裏再建(14次)、翌年朝堂院(3次)再建(本)。 1082 内裏焼亡(扶・百)。	990 西寺焼亡(紀略)。 1076 六条院(六条内裏)新造(百)。 1079 京中大火あり(扶)。 1082 京中飢饉により、死者数万人に及ぶ(帝)。	904 後三条天皇御室造営(御室寺御伝)。 1070 後三条天皇内裏造営(百)。 1075 藤原師実白河天皇に別業を献上、法勝寺造営開始(法勝寺造立記)。 1077 法勝寺金堂他建立(法)。 1083 法勝寺塔他建立(扶)。	1032 法住寺(藤原為光造営)焼亡(小)。	1052 藤原頼通宇治別業を平等院とする(扶)。 1057 法成寺再建(扶)。	1071 修治左右宮城使を罷置、以後、修造職・木工業・宮城使を併設。 1073 院政人形を設置。	982 右京南庭となり、左京紫雲寺(池岑記)。 988 「京都」の初見(院政関係文)。 1019 藤原道長法成寺造営(扶)。 1052 藤原頼通宇治別業を平等院とする(扶)。 1057 法成寺再建(扶)。	1141 上皇所領12ヶ所を八条女院伝領(平治5060)。 1143 三条西殿再建・焼亡(台)。	1135 仁和寺再建(本)。 1141 欽嘉光院造営(百)。 1143 白河押小路造営(台)。 1149 延勝寺造営(本)。	1152 鳥羽田中殿新造(兵)。 この頃池田造営。	1142 貴族の置、住居鴨水東に占める(本)。	1156 保元の乱。1157 京中騒動の市中法が出される。鳥羽法皇崩御。	
1086 白河	1087 六条院を院御所とする(平)。 1095 閑院再建、院御所とする(中)。 1097 高陽院再建。 1100 内裏再建(15次)(中)。 1107 大内裏・朝堂院修造(中)。 1120 堀宮内に「内野」通あり(「今昔物語」)。	1086 西京内三百余町の草を刈る(扶)。 1091 朱雀大路で耕作あり(玉)。 1095 閑院再建、院御所とする(中)。 1097 高陽院再建。 1105 鴨川・桂川氾濫し洪水(中)。 1117 土御門鳥丸内裏新造(殿)・三条西殿(三条鳥丸殿)を御所とする(殿)。 1125 京中大火あり(中)。 1126 三条東殿(三条東御院殿)・三条室町殿新造(百)。	この頃から仁和寺周辺に地割が施工される。 1095 白河院内大僧正房(泉殿)を法皇の御所とする(中)。 1095 白河上皇・御所(白河南殿)に参入(中)。 1102 藤原季綱の鳥羽山荘に後院造営、翌年南殿造営(中)。 1088 北殿造営(後二条御通記)。 1092 東殿・泉殿造営(中)。 1098 閑院の屋敷を鳥羽北殿へ移す(中)。 この頃から鳥羽離宮地割が施工される。	1092 久我取造造営(殿)。 1095 頃京中地点表示が、条坊から通り名表記に変わる。	1086 白河上皇院政開始。	1092 頃久我取造造営(殿)。 1095 頃京中地点表示が、条坊から通り名表記に変わる。	1172 三条西殿再建、1176 頃清康(玉)。 1177 太郎焼亡により大内裏(大極殿・朝堂院焼失)・京中焼亡。翌年、次郎焼亡あり(玉)。 1183 西八条第焼亡(玉)・六条院を御所とする。翌年院内に長勝堂建立(山)。 1181 神泉苑掃除・儀式が行われる。(以後、毎年総焼)に長勝堂建立(山)。 1186 閑院御殿、翌年修繕(百)。 1188 六条院焼亡、同年再建・拡張(玉)。 この頃東寺修造(東室記)。 1191 この頃、七条の市町並び、中心は七条町へ移る(明)。	1157 藤原頼通による内裏(16次)再建及び大極殿等修造(兵)。 1148 京中大火、土御門内裏焼亡(本)。 1159 高松殿焼亡(編年記)。 1168 宮城東西と朱雀大路の七条まで京中溝渠開掘、京中道路の田賦制作を後非違使をして禁じる(兵)。 1172 三条西殿再建、1176 頃清康(玉)。 1174 蓮華心院造営(仁)。	1156 白河北殿炎上(兵)。 1154 田中殿金剛心院御堂建立(兵)。 1156 藤原徳西の法住寺堂へ後白河上皇行幸(兵)。 1161 北殿焼亡(岡太郎)。 1168 北殿新造(兵)。 1161 東山御所(法住寺南殿)・北殿造営(山)。 この頃から、法住寺殿の地割が施工される。 1164 蓮華心院造営(百)。 1167 上皇東山七条御所(北殿)へ行幸(兵)。 1173 藤原光院造営(玉)。 1174 七条院を改造(吉)。 1184 白河押小路院が鳥羽院御所から後白河法皇御所となる(吉)。 1185 大地盤の為、白河地城破壊(玉)。 1188 白河押小路院が一時法皇御所となる(山)。	1161 東山御所(法住寺南殿)・北殿造営(山)。 この頃から、法住寺殿の地割が施工される。 1164 蓮華心院造営(百)。 1167 上皇東山七条御所(北殿)へ行幸(兵)。 1173 藤原光院造営(玉)。 1174 七条院を改造(吉)。 1184 白河押小路院が鳥羽院御所から後白河法皇御所となる(吉)。 1185 大地盤の為、白河地城破壊(玉)。 1188 白河押小路院が一時法皇御所となる(山)。	1164 頃から淀川に運輸業者出現(兵)。 1158 後白河上皇院政開始。 1159 平治の乱。 1167 平清盛太政大臣となる。 この頃淀川市栄える(玉)。	1180 源頼朝鎌倉で挙兵。1181 平清盛死去。 1185 源頼朝平氏を滅ぼす。守護地頭を置く。同年、京都大番役(大内大番役)を置く。	
1129 鳥羽	1134 鴨川・桂川・西洞院川氾濫し京中洪水(中)。 1138 京中大火(百)。	1129 天安寺跡に法金剛院造営(中・百)。 1132 平忠盛得長壽院を造営、宝莊院御堂建立(中)。 1137 東殿安養院造営(百)。 1139 成勝寺造営(帝)。	1101 南殿金堂開院建立(長秋記)。 1109 泉殿三重塔建立(殿)。 1111 泉殿多宝塔建立(殿)。 1114 白河南殿御堂(蓮華院)建立(中)。 1115 白河泉殿新造(中)。 1118 藤原寺造営(中)。 1118 白河北殿新造(中)。 1128 円勝寺造営(中)。	1112 頃、六波羅付近に平家(正盛)の邸宅できる(百合文書)。 1115 針小路以北に東寺巷所できる(百合文書)。	この頃から「京師」の呼称が一般化する。 この頃「東朱雀大路」初見(中)。 1107 「朱雀川」初見(中)。	1115 針小路以北に東寺巷所できる(百合文書)。	1189 源頼朝による内裏修造(17次)(百)。 1198 後鳥羽	1189 源頼朝による内裏修造(17次)(百)。 1198 後鳥羽	1191 此の頃、七条の市町並び、中心は七条町へ移る(明)。 1200 蓮華心院造営(仁)。 1206 蓮華心院造営(仁)。 1208 社殿等九重塔焼亡(百)。 1213 法勝寺九重塔建立(明)。 1213 京都大風・大焼亡(明)。	1191 藤原朝法住寺再建(百)。 1200 水無瀬院造営(明)。 1192 後白河法皇崩御。源頼朝鎌倉幕府開く。	1202 蓮仁寺造営(帝)。 1198 後鳥羽上皇院政開始。 1220 慈門が「愚童抄」を著す。	1192 後白河法皇崩御。源頼朝鎌倉幕府開く。 1198 後鳥羽上皇院政開始。 1220 慈門が「愚童抄」を著す。	

(凡例) 欄：欄記、記略：日本紀略、兵：兵範記、山：山樵記、中：中右記、百：百難抄、玉：玉葉、吉：吉記、帝：帝王編年記、扶：扶桑略記、殿：殿屋、本：本朝世紀、明：明月記、吾：吾妻鏡、仁：仁和寺諸堂記、平：平家物語、台：台記、小：小右記

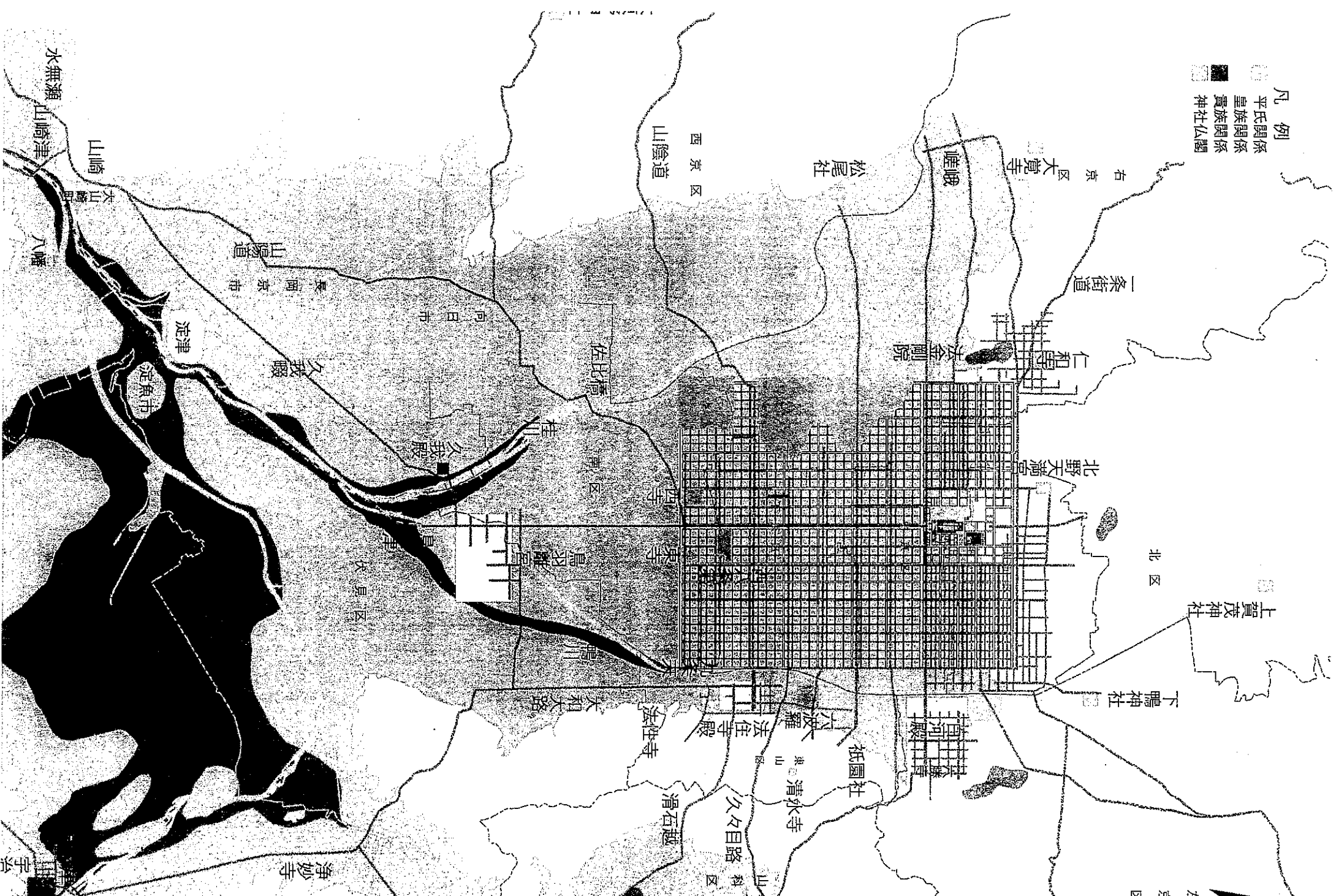


図2 平安宮城内遺構・遺物検出地点分布図(平安時代後期～鎌倉時代)(上村 2007)

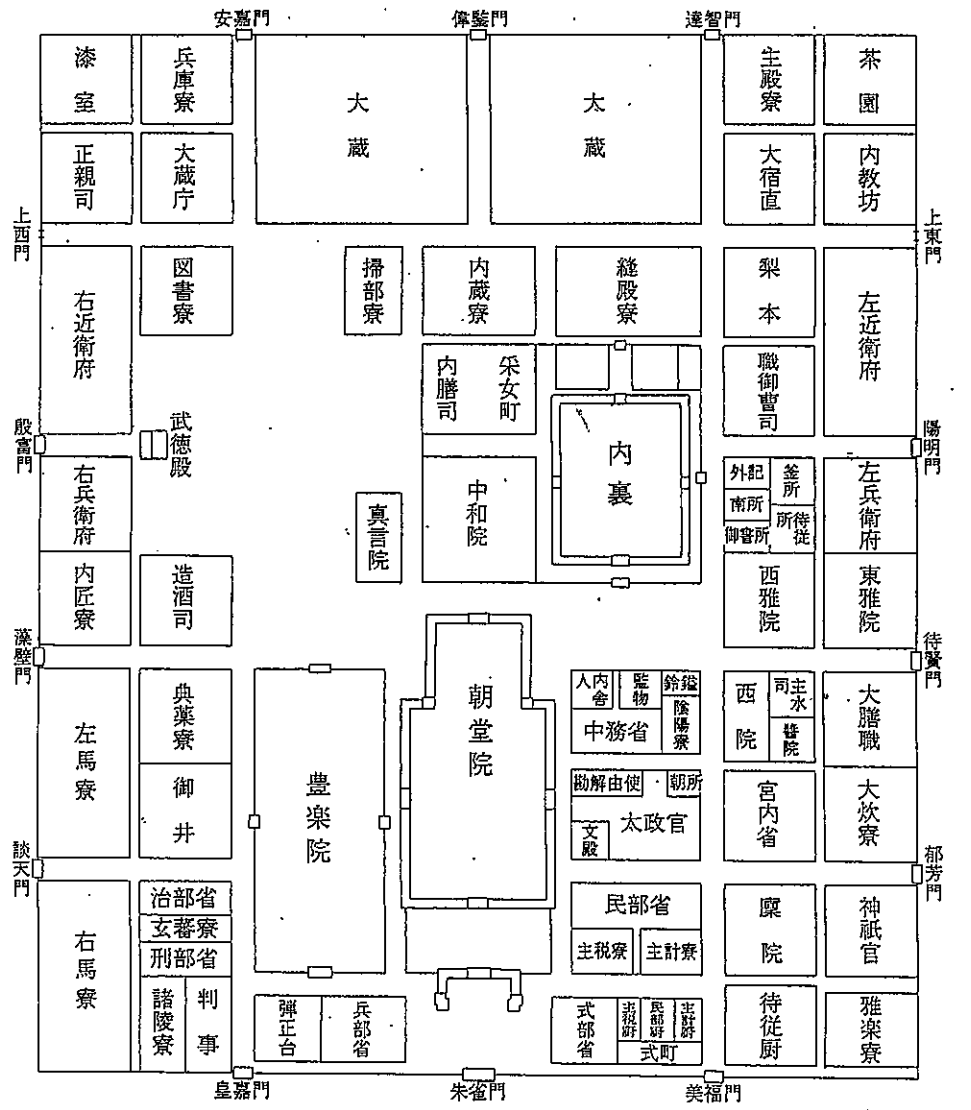
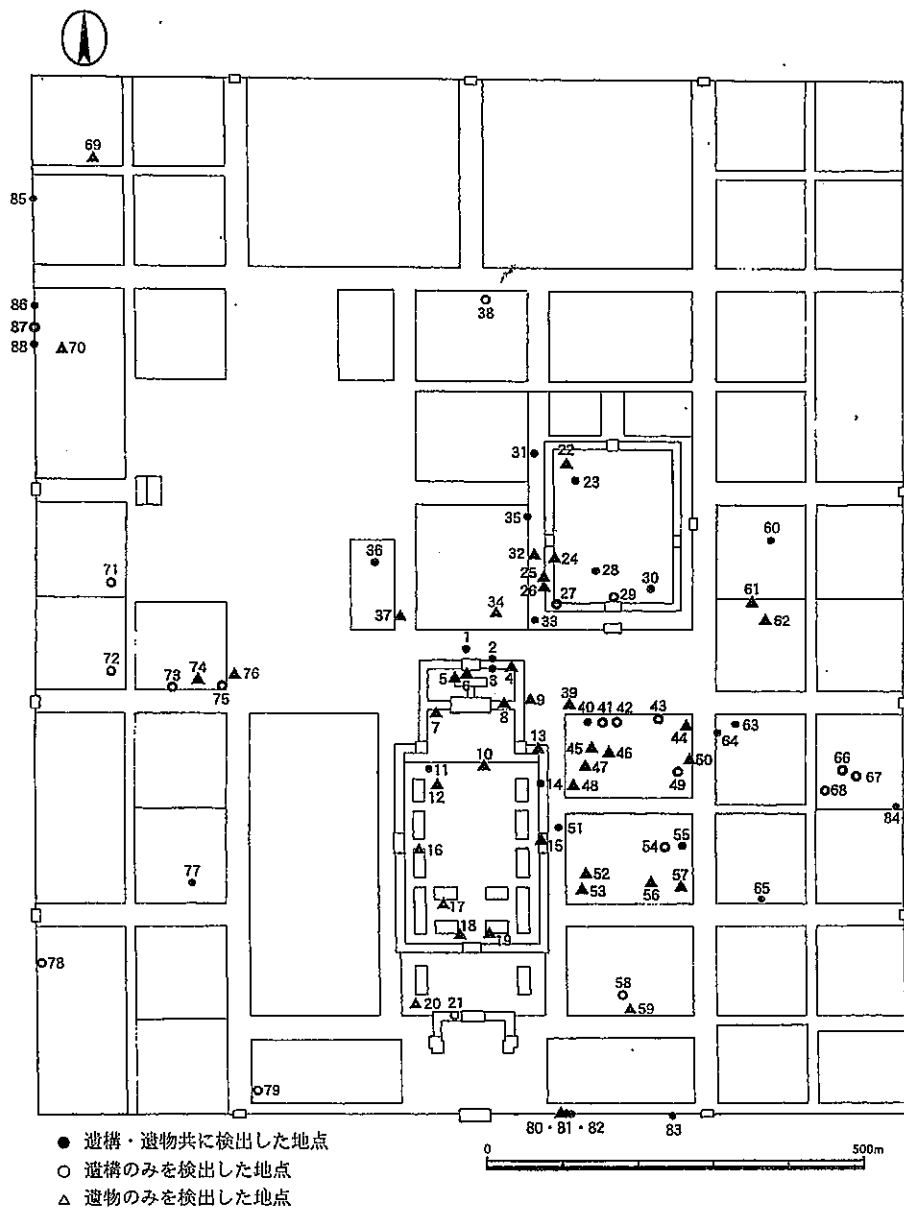


図4 揚梅小路沿いの遺構(山田 1998)

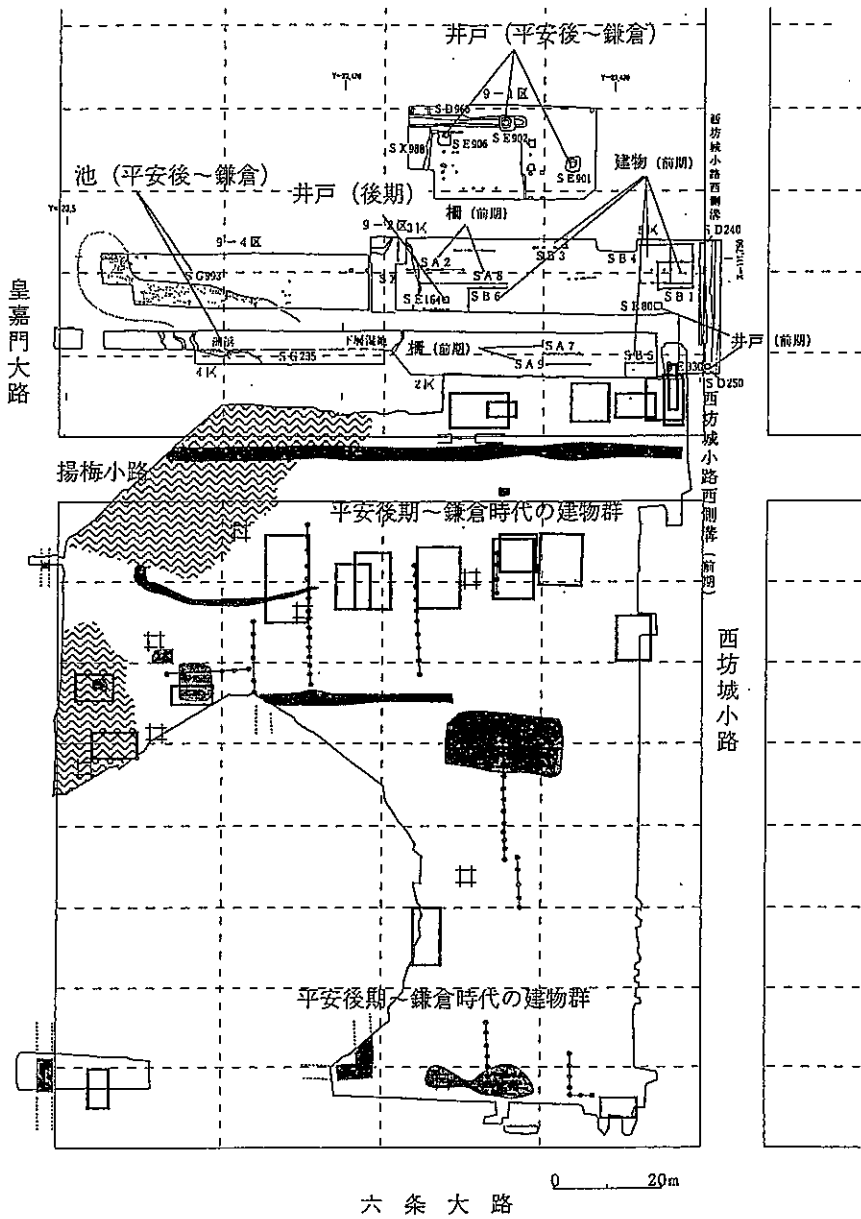
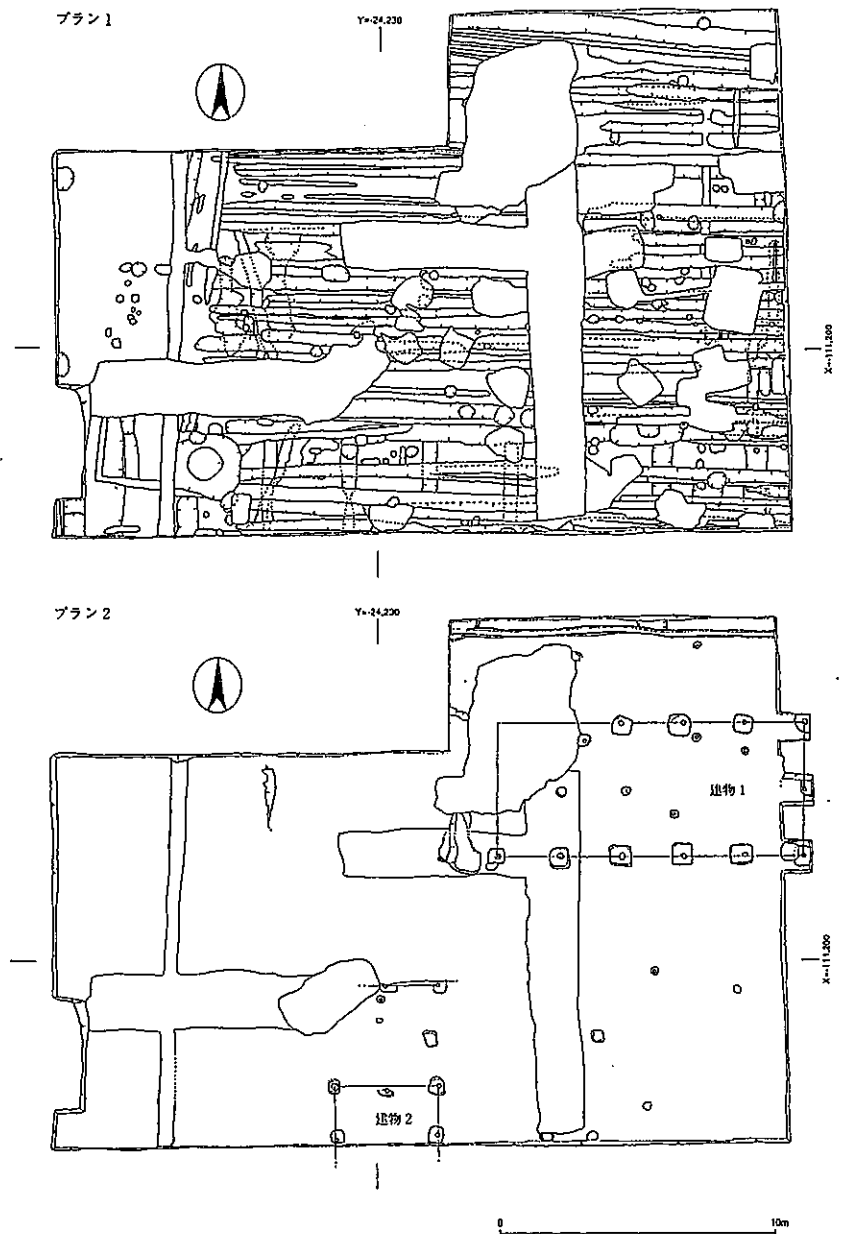


図3 右京の土地利用の変化(「平安京右京五条二坊2」 1994)



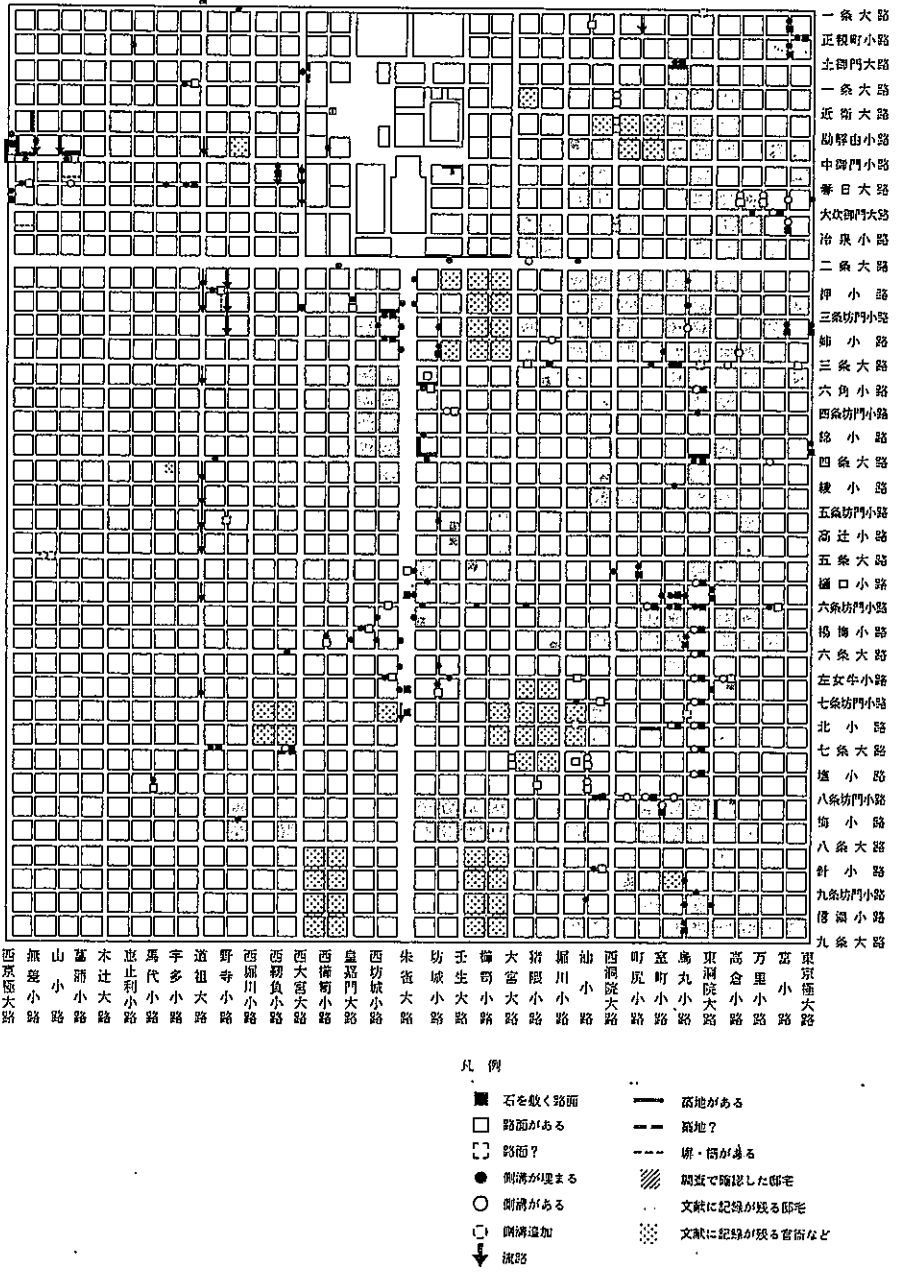


図5 街路関連遺構分布図(平安時代後期)(山本 2007)

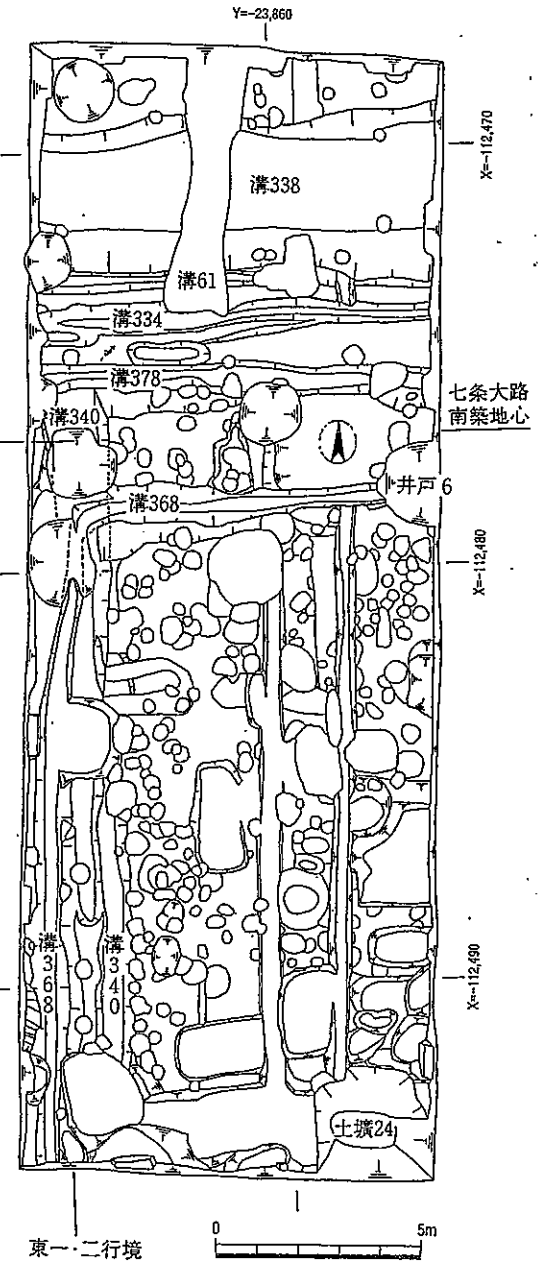


図6 七条大路西大宮大路東入るの調査(「平安京右京八条二坊・西市跡」1994)

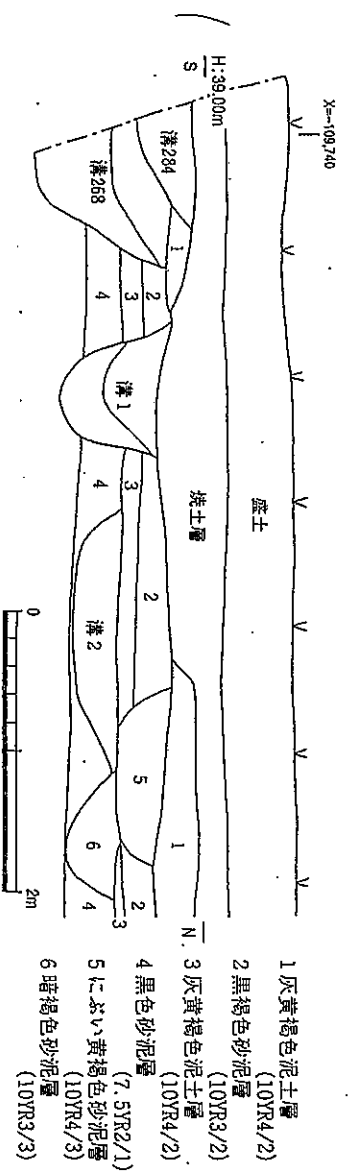


図7 二条大路堀川小路東入るの調査(「平安京左京二条二坊」1994)

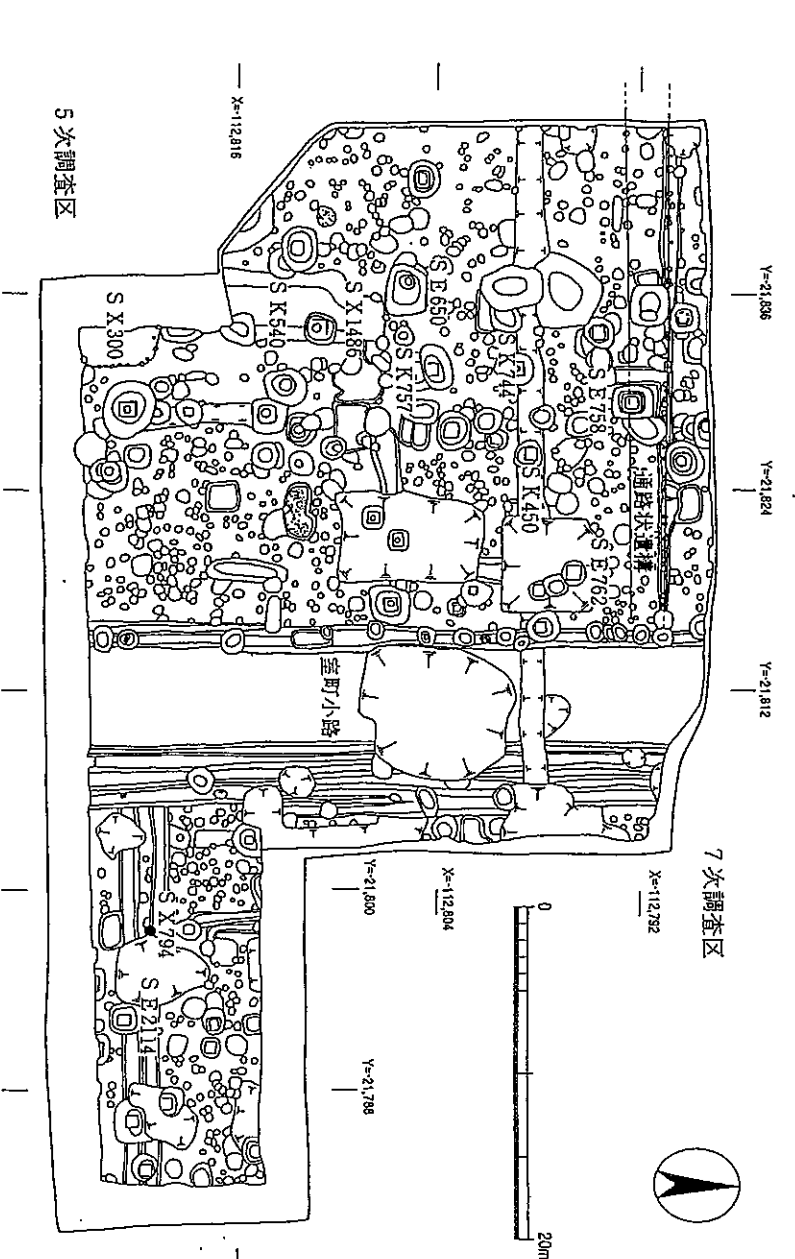


図8 八条院町の調査(「平安京左京八条三坊2」1996)



図9 『年中行事絵巻』に描かれた「町屋」